

教員採用試験 教育小論文の書き方

石 黒 康 夫

まずは形から…

教員採用試験の小論文を書く際は…

3つのパートに分けて書く。

- 1 序論
- 2 本論
- 3 結論

序論には何を書くか

- 論文のテーマの社会的背景や何が課題なのか、どのような視点で解決していくのかを述べる。
- テーマであげられていることが、社会ではどの様に捉えられているか、自分としてはどのような課題があるか、それを解決していくための考え方などを示す。

全体文字数の20%程度

(1050字の場合、210字)

序論には何を書くか

☆不登校は現在、全国的に増加の傾向にあり、重大な教育課題である。このことについてあなたはどの様に考えますか。また、学級担任として、どの様な方法で不登校を減らすか、あなたの考えを1050字程度で述べなさい。

○例 **不登校は、社会問題にもなっている重大な問題である。私は、新たな不登校を出さない学級経営を行う。そのため、私は、教育相談の手法を用いた、生徒が互いに認め合える人間関係作りを以下2点のように実施する。**

本論には何を書くか

- 序論で述べた課題について、解決策(具体的なものを)を2つ(東京都の場合)述べる。
(論文の字数により、異なります。字数は少ない方が難しい)
- 書き方として、自分が教師であることを前提に書く。
(私は〇〇として…)
- 解決策は、一般論ではなく具体的な方法を示す。抽象的だと点数にならない。
ここを一番充実させる。
全体文字数の70%程度

本論には何を書くか

例 私は、生徒の自己指導能力を育成する。→×

これだけでは ×

私は、生徒に課題を与える際、まず生徒一人ひとりにワークシートを用いて自分の考えを書かせる。次に、4～5名のグループ内で発表させる。小グループで発表することは、自分の意見を出しやすく、互いに認め合う機会になると考える。また、その中で他者の考えを聴くことにより、自分の考えをふり返り、必要に応じて自分の考えを修正することができる。このことにより生徒のメタ認知能力が育まれ、生徒が自己指導能力を身につけることが期待できる。

本論には何を書くか

例

1 生徒の自己指導能力を育成する。

私は、生徒に課題を与える際、まず生徒一人ひとりにワークシートを用いて自分の考えを書かせる。次に、4~5名のグループ内で発表させる。小グループで発表することは、自分の意見を出しやすく、互いに認め合う機会になる。また、その中で他者の考えを聴くことにより、自分の考えをふり返り、必要に応じて自分の考えを修正することができる。このことにより生徒のメタ認知能力が育まれ、生徒が自己指導能力を身につけることが期待できる。

2 互いに認め合う学級づくりを行う。

本論には何を書くか

例

1 ○○ ○○ ○○ ○○ ○○。

私は、.....

.....

.....

.....

具体策1

2 □□ □□ □□ □□ □□。

私は、.....

.....

.....

.....

具体策2

課題に正対するとは…

- 聞かれてしていることに答える。自分は何について答えれば良いのか。
- 小論文の課題が何であるか把握する。
- 自分は何について書けばよいのかを理解する。

例 不登校は現在、全国的に増加の傾向にあり、重大な教育課題である。

このことについてあなたはどの様に考えますか。

また、学級担任として、どの様な方法で不登校を減らすか、あなたの考えを1050字程度で述べなさい。

- ☆不登校が増加していることについて、自分の考えを述べる。
- ☆不登校を減らす方策について自分の考えを述べる。
- ☆学級担任の立場でできることを述べる。

結論には何を書くか

○別の視点からの補足や教職に対する自分の抱負や決意を述べる。

☆結論部分の決まり文句として、

「校長の指導の下…」

「常に研修に励む」

「先輩教員や同僚と協力しながら…」

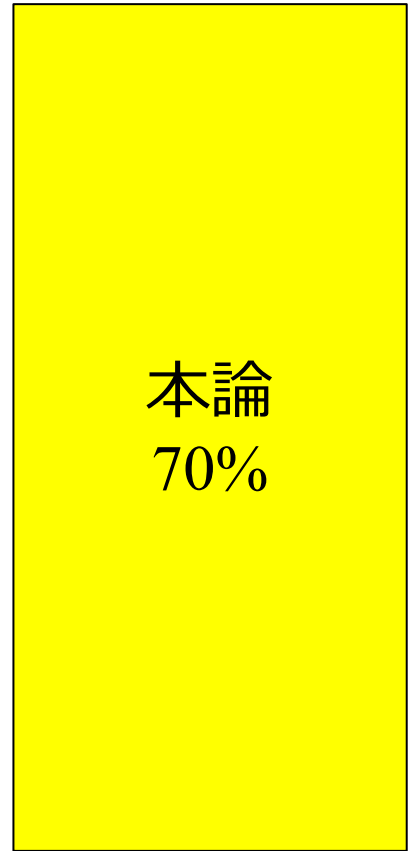
「保護者や地域と連携しながら…」などの文言を入れる。

全体文字数の10%程度

例えば…
イメージ



序論20~30%



本論60~70%



結論10~20%

文の書き方

① 文字数は制限いっぱいを書く。

1050字以内、1050字程度などと示されているが、なるべく示された字数いっぱいを書く。
字数が足りないと減点の対象となる。

② 「～である調」で書く。

「です・ます調」ではなく「～である調」を用いて書く。

③ 主語は、「私は、」を用いる。

④ 主語と述語をきちんと対応させる。

「○○が、……………△△である。」としたら、○○と△△は何らかの関係がなければおかしい。

文の書き方

⑤ ひとつの文は短めに書く。

文が2行、3行になると書いている方も文の流れがおかしくなることがある。また、読み手にとっては意味が取りにくくなる。→ 読んでももらえない。

読み手に読みやすい文を書くためにも、1.5行~2行程度に収めるのがよい。

しかし、文の内容上やむをえない場合もある。(何らかの調査名を引用する際など)

⑥ 適切に句読点を打つ。

読み手が読みやすいように句読点を適切に入れる。

⑦ 文字は丁寧に書く。

字の上手、下手ではなく、**丁寧に書いていることが大切**。上手な字ではなくとも、丁寧に書いてあればよい。殴り書きや大きさが不ぞろい、枠からはみ出ることがないように丁寧に書く。

読み手のことを意識して読みやすい字を書く。

文の書き方

⑧ 誤字・脱字がないこと。

誤字・脱字があると減点の対象になります。

⑨ 鉛筆はHBを使う。濃すぎると字がすれて汚れる場合があり見にくくなる。

⑩ 段落で書く。

書いている文の話題や内容、視点が変わるときは段落を変える。

言いたいことのひとかたまりを段落に分けて書く。

段落の書き出しは一文字下げる。

⑪ 筋が通っている。

述べていることが、理路整然としており、わかりやすい。明確な理由を述べている。

言葉の使い方

① 「校長先生」×→「校長」でよい。

校長の指導の下、教師として全力を出す。

② 先輩の先生方×→「先輩の教員(教師)」

③ 教員、教職員の使い分け

話の内容が、教師だけでなく事務職員、用務主事、給食調理員なども含む場合は、「教職員」とする。内容的に教師のみが関わるときは「教員」を用いる。

言葉の使い方

④ 語尾の書き方

「~と思う。」×→「~と考える。」

何かについての考えや意見を聞かれている場合は、「~と考える」でよい。

しかし、何らかの**決意を聞かれている場面**では、「~と考える」では、考えているだけととられてしまう。

例えば…ア 私は、毎日放課後、学習に遅れのある生徒を対象に補習を**行いたいと考える**。

イ 私は、毎日放課後、学習に遅れのある生徒を対象に補習を**行いたい**。

アは考えているだけ、イは行いたいという希望を述べている。

→私は、毎日放課後、学習に遅れのある生徒を対象に**補習を行う**。

☆自分の**決意を述べる**ときは、**はっきりと言い切ることが大切**。

言葉の使い方

⑤ 考えや意見を述べる際の注意

例 イヌは動物である。

→これは誰が見ても正しいことなので、「**である。**」と言い切ってよい。

しかし、必ずしも正しいとは限らないことを言うときは、
言い切らないほうが良い。

例 イヌは、ボールを投げると**喜んでとりにいく**。

→すべてのイヌがそうとは限らない。

→一般的に、イヌは、ボールを投げると**喜んでとりにいく**と考えられている。

→多くのイヌは、ボールを投げると**喜んでとりにいく**と言われている。

言葉の使い方

⑤ 考えや意見を述べる際の注意

☆ 絶対的に正しいと言い切れないときは、このように**断言をさける**。

例 ア 計算は技能である。

イ 練習すれば誰でも上達する。

ウ 毎回の授業で計算練習を行うことは、必ず生徒の計算力を向上させる。

アは誰が見ても正しい。

イは必ずとはいえない。

ウも必ずそうなるとはいえない。

言葉の使い方

⑤ 考えや意見を述べる際の注意

→計算は技能である。したがって、練習すれば誰でも上達する可能性がある。

私は、毎回の授業で計算練習を行うことで、必ず生徒の計算力を向上させることができると**信じている**。

(信じている。…は自分が信じていること信念である)

私は、毎回の授業で計算練習を行うことで必ず生徒の計算力を向上させる。

(この場合は、私の決意を示しているから、言い切っても良い)

言葉の使い方

⑥ 熱意や決意の表し方

論文を通して、教師としての熱意や決意をどの様に表せばよいのか。

「決意」は、前にも述べたように、「私は、必ず～する。」などのように**言い切る**ことで決意を表せる。

「～したい」や「と考える」だと、弱く感じられるので注意する。

「熱意」…熱心さは、あきらめずに**何度も行うこと**で示すことができる。

「私は、たとえ～であっても、**あきらめずに繰り返し繰り返し**指導していく。」

生徒指導は簡単にいかないことが少なくない。

そうした状況でも、教師としてけしてあきらめずに何度でも忍耐強く働きかけをするという意味を示すことで、教師としての熱意を表現することができる。

文のつなぎ方

例 私は、生徒に課題を与える際、**まず**生徒一人ひとりにワークシートを用いて自分の考えを**書かせる**。**次に**、4~5名のグループ内で**発表させる**。小グループで発表することは、自分の意見が出しやすく、互いに認め合う機会になると**考える**。**また**、その中で他者の考えを聴くことにより、自分の考えをふり返り、必要に応じて自分の考えを修正することができる。このことにより生徒のメタ認知能力が育まれ、生徒が自己指導能力を身につけることが**期待できる**。

まず→次に

最初(第一に)に→第二に

そして、 また、 さらに、 しかし、

過去の問題を見てみよう

東京都 2018年度 A問題

年度初めの職員会議で、教務主任から、「昨年度、『自分の考えを的確に表現する。』を重点事項に学習指導に取り組んだ結果、学習に関する生徒アンケートにおいて『自分の考えを表現できた。』の項目で『あてはまる』と回答した生徒が一昨年比べて増えました。しかし、『自分の考えとは異なる考えについて理解することができた。』の項目で『あてはまらない』と回答した生徒が多いことがわかりました。また、各教科主任からは、『自分の考えを根拠とともに伝えたり、他者の考えに根拠をもって反論したりすることが苦手な生徒が多い。』という報告を受けています。そこで、今年度、各教科の指導において、『他者の考えを理解し、自分の考えを広げ深めることができる力を育てる。』を重点項目にしたいと思います。」と報告があった。

問題を見てみよう

東京都 2018年度 A問題

年度初めの職員会議で、教務主任から、「**昨年度、『自分の考えを的確に表現する。』を重点事項に学習指導に取り組んだ結果、学習に関する生徒アンケートにおいて『自分の考えを表現できた。』の項目で『あてはまる』と回答した生徒が一昨年比べて増えました。**しかし、『自分の考えとは異なる考えについて理解することができた。』の項目で『あてはまらない』と回答した生徒が多いことがわかりました。また、各教科主任からは、『自分の考えを根拠とともに伝えたり、他者の考えに根拠をもって反論したりすることが苦手な生徒が多い。』という報告を受けています。そこで、今年度、各教科の指導において、『他者の考えを理解し、自分の考えを広げ深めることができる力を育てる。』を重点項目にしたいと思います。」と報告があった。

問題を見てみよう

東京都 2018年度 A問題

年度初めの職員会議で、教務主任から、「昨年度、『自分の考えを的確に表現する。』を重点事項に学習指導に取り組んだ結果、学習に関する生徒アンケートにおいて『自分の考えを表現できた。』の項目で『あてはまる』と回答した生徒が一昨年比べて増えました。**しかし、『自分の考えとは異なる考えについて理解することができた。』の項目で『あてはまらない』と回答した生徒が多いことがわかりました。**また、各教科主任からは、『自分の考えを根拠とともに伝えたり、他者の考えに根拠をもって反論したりすることが苦手な生徒が多い。』という報告を受けています。そこで、今年度、各教科の指導において、『他者の考えを理解し、自分の考えを広げ深めることができる力を育てる。』を重点項目にしたいと思います。」と報告があった。

問題を見てみよう

東京都 2018年度 A問題

年度初めの職員会議で、教務主任から、「昨年度、『自分の考えを的確に表現する。』を重点事項に学習指導に取り組んだ結果、学習に関する生徒アンケートにおいて『自分の考えを表現できた。』の項目で『あてはまる』と回答した生徒が一昨年比べて増えました。しかし、『自分の考えとは異なる考えについて理解することができた。』の項目で『あてはまらない』と回答した生徒が多いことがわかりました。また、各教科主任からは、『自分の考えを根拠とともに伝えたり、他者の考えに根拠をもって反論したりすることが苦手な生徒が多い。』という報告を受けています。そこで、今年度、各教科の指導において、『他者の考えを理解し、自分の考えを広げ深めることができる力を育てる。』を重点項目にしたいと思います。」と報告があった。

問題を見てみよう

東京都 2018年度 A問題

年度初めの職員会議で、教務主任から、「昨年度、『自分の考えを的確に表現する。』」を重点事項に学習指導に取り組んだ結果、学習に関する生徒アンケートにおいて『自分の考えを表現できた。』の項目で『あてはまる』と回答した生徒が一昨年に比べて増えました。しかし、『自分の考えとは異なる考えについて理解することができた。』の項目で『あてはまらない』と回答した生徒が多いことがわかりました。また、各教科主任からは、『自分の考えを根拠とともに伝えたり、他者の考えに根拠をもって反論したりすることが苦手な生徒が多い。』という報告を受けています。そこで、**今年度、各教科の指導において、『他者の考えを理解し、自分の考えを広げ深めることができる力を育てる。』を重点項目にしたいと思います。」と報告があった。**

□学習に関する生徒アンケートの結果から…

○昨年度、『自分の考えを的確に表現する。』を重点事項に学習指導に取り組んだ結果、『自分の考えを表現できた。』と答えた生徒が一昨年に比べて増えた。

○『自分の考えとは異なる考えについて理解することができた。』の項目では『あてはまらない』と回答した生徒が多い。

○各教科主任からは、『自分の考えを根拠とともに伝えたり、他者の考えに根拠をもって反論したりすることが苦手な生徒が多い。』という報告を受けている。

○今年度、各教科の指導において、『他者の考えを理解し、自分の考えを広げ深めることができる力を育てる。』を重点項目にしたいと思います。」と報告があった。

□学習に関する生徒アンケートの結果から…

※アンケートの結果なので、回答は生徒の主観である。

生徒が感じていることと、実態は必ずしも一致はしているとは限らない。

【生徒が感じていること】

○『自分の考えを的確に表現する。』を重点事項に学習指導に取り組んだ結果

→『自分の考えを表現できた。』と答えた生徒が増えた。

○『自分の考えとは異なる考えについて理解することができた。』の項目では

→『あてはまらない』と回答した生徒が多い。

【各教科主任の所見 実態】

○『自分の考えを根拠とともに伝えたり、他者の考えに根拠をもって反論したりすることが
苦手な生徒が多い。』

○今年度、各教科の指導の重点項目

『他者の考えを理解し、自分の考えを広げ深めることができる力を育てる。』

今年度、各教科の指導の重点項目

『**他者の考えを理解し、自分の考えを広げ深めることができる力を育てる。**』

○他者の考えを理解する…

→**他者の話を聞く姿勢が必要、話を聞いて自分の言葉で言い換えることができる**

○自分の考えを広げ深める

→考えを広げるとは、**自分の考えになかったものを受け入れて自らの考えに生かす**

→考えを深めるとは、**自分の考えをもとに多様な観点から自分の考えの妥当性や信頼性を吟味すること**

①事実等を正確に理解し、知識や経験と結びつけて解釈し、自分の考えをもつ。

②自分の考えについて、探求的態度をもって意見と根拠、原因と結果などの関係を意識する。

③自分の考えと他者の考えの違いを捉え、それらの妥当性や信頼性を吟味したり、異なる視点から検討したりして振り返るようになる。

例えば…

自分の考えを広げるとは、様々な文章を読んだり、他者の意見を聞いたりして、自分が考えていたこととは違う考え方を知り、自分の意見を再構築することであると考える。

(78字)

また、自分の考えを深めるとは、様々な文章を読んだり、他者の意見を聞いたりして、自分の考えとの共通点に気づき、自分の考えを見直すことであると考える。

(73字)

職員会議終了後、教務主任からあなたに、「先ほどの重点項目に基づいて、どのように学習指導に取り組んでいくか、具体的に考える必要がありますね。」と話があった。

教務主任の発言を受けて、あなたなら**どのように学習指導に取り組んでいくか**、志望する校種と教科等に即して、**具体的な方策を二つ挙げ**、それぞれ**10行（350字）程度**で述べなさい。

その際、その方策を考える上での問題意識やまとめを的確に書き、**全体で30行（1050字）以内**で述べなさい。

ただし、**26行（910字）を超える**こと。

○「他者の考えを理解し、自分の考えを広げ深めることができる力を育てる。」
ことはなぜ大切なのか。

○自分の考えを広げ深めることができる力とはどのようなものなのか。

○それを生徒の身につけさせるためにはどのような方策をとるのか。
根拠を元に述べる。

ワークシートを元に練習

2021年度 東京都A問題

A：年度初めの職員会議で、教務主任から、昨年度末に実施した生徒アンケートでは、「自分の考えや質問を述べて、積極的に授業に参加している」や「根拠や理由を明確にして自分の考えを述べることができる」に肯定的な回答をした生徒が少なかったこと、また、教科主任会では、複数の教科主任から、「授業で学んだ内容を自分なりに解釈したり、これまで学習した知識と結び付けて自分の考えを形成したりすることができていない」ことが課題として挙げられたとの報告があった。その上で、教務主任から、「今年度、各教科等の指導において、『言語活動の充実を図り、言語能力の向上を目指す』を重点事項にしたいと思います。」と示された。職員会議終了後、教務主任からあなたに、「先ほどの重点事項に基づいて、どのように学習指導に取り組んでいくか、具体的に考える必要がありますね。」と話があった。

(問題) 教務主任の発言を受けて、あなたならどのように学習指導に取り組んでいくか、志望する校種と教科等に即して、具体的な方策を二つ挙げ、それぞれ10行(350字)程度で述べなさい。また、その方策を考える上での問題意識を明確にし、全体で30行(1,050字)以内で論述しなさい。ただし、26行(910字)を超えること。